

金沢市長 村山 卓 様

視覚障害者の雇用と生活支援における要望書

令和7年1月17日

「あうわ」視覚障害者の働くを考える会
代表 林 由美子

私たち「『あうわ』視覚障害者の働くを考える会」は、行政の皆様と共に視覚障害者の就労拡大のための活動を進めさせていただいております。これもひとえに金沢市、ご当局のご理解とご指導の賜であると感謝しております。

金沢市における視覚障害者を取り巻く環境は、就労や職業訓練の環境はもとより日常生活においても、未だ厳しい現状があります。

特に、能登半島地震を経験し、障害者への支援が、全くと言っていいほどなされていないと感じました。災害時の障害者支援を根本的に見直す、よい機会になることを期待します。また、今回は要望として災害時の支援に対する項目もあげさせていただきました。

また、昨年11月7日に開催した「視覚障害者の働くを考える座談会」では、初めての試みとしてワークショップによる視覚障害者の就労支援を考える機会を提供させていただき、ご参加いただいた皆様が、更に理解を深める場となったと実感しております。

今後も行政の皆様には、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、視覚障害者の自立に向けた支援が、さらに拡充することを願い、以下、要望します。

記

災害対応の強化

- 一、視覚障害者の個別避難計画の作成を急ぐこと。
- 一、災害時の障害者専用窓口の設置と周知を行うこと。
- 一、視覚障害者支援団体と災害時連携協定を市として結ぶこと。
- 一、災害時の障害者支援を円滑に行うため各種支援団体に障害者の情報を公開できるようにすること。
- 一、障害者に有効な災害用アプリケーションを選定し、健常者を含め広く周知し、普段からの活用を進めること。

医療・福祉の連携

- 一、眼科医から視覚障害者に対して障害者手帳の申請の案内を徹底すること。
- 一、スマートサイト「ビジョンネット石川」の周知と活用促進を図ること。
- 一、地域生活支援および生活訓練・歩行訓練の充実を図ること。特に、「中途視覚障害者緊急生活訓練事業」の早急な実施を求める。

生活・情報支援の強化

- 一、移動支援・同行援護事業の拡充を図ること。
- 一、移動支援・同行援護のサービス利用時間を拡大すること。
- 一、本市において代筆・代読支援事業を実施すること。
- 一、金沢市のLINEポッドに障害者支援を開設すること。
- 一、情報アクセシビリティの改善や視覚障害におけるデジタルデバイドを生まない施策に、継続的に取り組むこと。
- 一、視覚障害者への情報提供について十分な配慮を行うこと。
- 一、視覚障害者のIT機器購入対する支援制度をつくること。

職業訓練、就労支援の充実

- 一、視覚に障害があっても受けられる職業訓練の体制を確立すること。
- 一、視覚障害者が金沢市職員として働ける環境づくりを行い、視覚障害者の就労のロールモデルを作ること。
- 一、「重度障害者等に対する通勤や職場等における支援」を早期に実施すること。
- 一、ヘルスキーパーの採用企業を増やすための周知活動を行うこと。

以上